
ある奇妙な双子のこと

桐原 臨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある奇妙な双子のこと

【Zマーク】

Z90190

【作者名】

桐原 臨

【あらすじ】

互いに全く関係のないまま生れる筈だった少年と少女。彼らが「双子」と呼ばれるに至った経緯。

過ぎ去った過去の情景 訪れる未来の憧憬
時代が繋ぎ合わせた歪な世界…

彼について…

彼は「特別」な子だった

世界になくてはならない存在だった

彼女について…

彼女は「平凡」な子だった

世界に受け入れられる存在だった

無関係のまま生きる筈だった あの日の子供たち

それは偶然か必然か

一人が背負った「特別」は その体を蝕み

一人が授かった「平凡」は その体に病をもたらした
駆け回る足音 ザわめき戸惑う大人たち

畏敬の念はいつしか形を変え 不安を植えつけ

大きすぎる期待は 周囲の失望を生んだ

そんな折人々がようやく見つけた 解決の糸口…

きつとすべてがうまくいく… そう信じて疑わなかつた

『世界を回す運命の歯車は時として思わぬ方向へと、その向きを変える』

わがままな思惑と願いが錯綜する中 望みを託したのは……

あの日何があつたのか 知る者はすでにいない

彼は 彼女がいなければ「彼」でいられないよ

彼女は 彼がいなければ「彼女」として存在することはない

彼らは互いを愛しているわけではない

羨望を向けることもなく ましてや憎しみを抱くことすらない

虚構のように不確かなそれは 叶わなかつた憧憬

見上げた空はどこまでも青く 何事もなかつたかのよつて世界を包む

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9019o/>

ある奇妙な双子のこと

2010年11月14日03時44分発行